

様式 2

平成22年度 第10回安曇野市スポーツ振興計画策定委員会 会議概要

- 1 審議会名 スポーツ振興計画策定委員会
- 2 日 時 平成23年3月30日 午後7時00分から午後8時15分まで
- 3 会 場 豊科総合支所 第2会議室
- 4 出席者 古澤会長、加々美副会長、赤羽委員、大谷委員、降旗委員、宮澤委員、二木委員、
阿部委員、廣田委員、鹿川委員、会田委員、内川委員、矢野委員、臼井委員、
青柳委員
- 5 市側出席者 赤羽課長・青柳係長・中島主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成23年4月4日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - (1) 開会 (赤羽課長)
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 協議事項
 - ①計画成案について
 - ・パブリックコメント実施結果について
 - ・スポーツ振興審議会による審議結果について
 - ・行政経営会議の結果について
 - (4) 閉会 (赤羽課長)
- 2 会長あいさつ

みなさんにまとめてもらったものが陽の目に見る最後の会議になる。知り合いが震災に遭われた方もいるかもしれない。大会を中止にするなどいろいろな部分で苦労された方もいるのではないかと思う。今日、総まとめという形になるが、この成案を確認した中、今後どうするかを踏まえたうえで身にある形にしてもらいたい。最終段階ではあるものの若干の修正は効くということなので忌憚無く聞かせてもらいたい。
- 3 協議概要
 - (1) 計画成案について

(会 長) 10月以降、これまでの流れを教えてくださいながら、事務局のほうから説明をお願いしたい。

(事務局) <全体の流れ・資料説明>
パブリックコメント実施結果、スポーツ振興審議会による審議結果・資料①～②

(会 長) 全体の流れからパブリックコメントのところまでで質問等はあるか。パブリックコメントで意見を出された方には返答し納得をしてもらっているのか。

(事務局) 直接、回答したわけではなく、ホームページと広報あづみのを利用して回答している。

(会 長) この部分はいいか。

(意見なし)

振興審議会での意見のほうはどうか。

(意見なし)

つづいて、資料③からお願いする。

(事務局) <資料説明>
スポーツ振興審議会による審議結果・資料③～⑥

(会 長) 資料③から⑥のところまでで質問等はあるか。あづみのが漢字になっているが、ここの辺をこだわる方もいるかと思う。

協 議 事 項 等

- (事務局) 上位計画との整合性との話があったので、理解して欲しい。
- (会 長) つづいてお願いします。
- (事務局) <資料説明>
スポーツ振興審議会による審議結果・資料⑦～⑨、行政経営会議の結果
- (会 長) コーディネーショントレーニングという部分、資料⑦から⑩まで変更点を説明してもらったが、どうか。
- (事務局) みなさんにまとめてもらった計画案がよかったので、大きく変更する意見も出ずに表現を変える程度でさらに充実したものになった。
- (会 長) 何かあるか。
(意見なし)
今後の流れはどうなるのか。
- (事務局) レイアウトやイラスト、写真を挿入、推敲は印刷業者をお願いします。印刷したものは主要なところへの配付をする。あと、ホームページへの公開をする。全戸へ8ページ程度の概要版を配付する。新年度のできるだけ早いうちにと思っている。印刷業者はこれから決まる。
- (会 長) 早いうちとはどのくらいか。
- (事務局) 遅くとも夏前にはと考えている。
- (委 員) 前も言っているが、押野山多目的グラウンドは野球にも対応するのか。
- (事務局) それなりの面積はとれるのできちんとした規格のものを設置することは可能だと思う。ただ、スタジアムのようにはいかない。
- (委 員) わかった。市の南部というのはどういうものか。
- (事務局) 少年野球からの要望で練習するグラウンドが市の南部のほうにないということである。
- (委 員) 具体的に場所とか決まっているのか。
- (事務局) まだである。
- (委 員) わかった。
- (会 長) 計画は出来た。具体的に実施していく場合にどういう組織で実現していくのか。
- (事務局) スポーツ振興審議会のほうで進行管理をすることになっていて、必要があれば見直しをする。策定委員の方も組織というわけではないが、意見を出してもらえればありがたい。
- (会 長) 振興審議会に我々のどなたかが入るわけにはいかないのか。
- (事務局) 体協、スポ少の代表の方は入っている。
- (委 員) この計画がどのように進行していくか確認するところが我々から離れてしまうから、この会の会長が入ってもらわないとおかしいような気がする。それはダメなのか。
- (委 員) 審議会の構成委員はどんな方がいるのか。
- (事務局) 体育協会会長、スポーツ少年団本部長、健康運動実践者、穂高地域体協事務局長、体育指導委員の女性委員、三郷地域体協理事、体育指導委員の会長、スポーツインストラクター、校長会から1人、総合型地域スポーツクラブの代表、体協事務局長というような方々をお願いしている。
- (委 員) 施策の柱の一つである高齢者、障害者の関係の人がいない。
- (事務局) 条例では、スポーツに関する学識経験を有する方、関係行政機関の職員、教育委員会が特に必要と認める方となっている。今の委員の任期は2年間で平成24年3月31日までとなっている。委嘱したときは、計画が策定されていなかったもので、選考に反映されていない。次回、振興計画に沿って選任したい。
- (会 長) せっかくこれだけのものをまとめたので、我々も入っていかないといけないと思う。ぜひ、検討して入れて欲しい。

協 議 事 項 等

- (事務局) 今の意見踏まえて考えさせて欲しい。
- (委員) そこで具体的な予算とかも考えると理解していいのか。支援というのはお金をくれるのか、物をくれるのか、人をくれるのか、の3つだと思う。受益者に届く手法はどんなものか。
- (事務局) スポーツ振興審議会には、この計画の評価、見直し等を審議してもらおう。進捗状況を見てもらうということで考えている。必要があれば見直しをもらう。支援とか具体的なことではない。
- (委員) この施策を実際に行っていくという部署は教育委員会なのか。
- (事務局) そうである。市の指針であり、市民にとっても指針である。
- (会長) どこかチェック機関がないといけないということが気になる。どこか物を言える機関に加われればと思う。早い機会、新年度にでもと思う。
- (事務局) この計画に基づいて推進していき1年後に確認してもらおうということになる。23年度すぐに進捗状況ができるものではない。次期のスポーツ振興審議会委員の選考のおりには、この辺のところも考慮していきたい。
- (委員) 高齢者、障害者のところで健康福祉部に相談に行くと教育委員会のほうに行くとと言われては困る。
- (事務局) 庁内検討会議のメンバーには健康福祉部の者もいる。この内容は承知している。具体的な話はこれからになるが、連携を深めてそういうことの無いようにする。そういうことがあったら、ぜひ、言って欲しい。審議会に入っていないから、意見が言えないと言うわけではないので、気が付いたことがあれば言って欲しい。
- (委員) 南部総合公園に体育館を造る際には、障害者にも配慮して造って欲しい。
- (事務局) 南部総合公園の体育館については、旧豊科町の頃からの懸案事項であった。合併協の中でも話し合われてきた。この前、新聞にでたのは、今後5年間の実施計画に載ったということである。いつできるかは未定である。
- (委員) 南部総合公園に体育館ができた時には南社会体育館は廃止ということであった。福祉体育館として高齢者、障害者のために残して欲しい。スポーツの拠り所にしてもらえればありがたい。
- (事務局) ご意見としてお聞きしておく。
- (会長) 体育館の建設についてどの機関だと意見を言えるのか。行政だけで決めてしまうのか。
- (事務局) 南部の体育館についてはすでに検討委員会があって、検討してきた経過がある。今も検討委員会が機能しているかは分からない。公園の施設ということで都市建設部のほうが計画してきた。スポーツ振興計画の策定にあたって、スポーツのほうで担当することになった。今までの経過を確認しながら、今後については検討しながら進める。これからの新しい施設のすべてを検討委員会を立ち上げて、もんでいくかは、市の方針がでていないので、ここではお答えできない。
- (会長) 現場を分かっている方に聞くのがいいと思う。ぜひ、組織を作るときには考慮して欲しい。
- (委員) 直接は関係ないが、この前、体育施設の利用頻度の調査があった。どういう意図があったものか。
- (事務局) 特定の団体が施設を独占することはできない。減免の回数も決められている。その中でどれくらい活動しているのかを知るための基礎資料としてお願いした。これで規制をするものではない。
- (委員) スポーツ教室はすでにやっているものがある。新しく作らなくてもいろいろなところでやっているものを周知すればいいと思う。現在あるものを共有して活用していくのも手だと思う。情報の開示が必要である。
- (事務局) 広報やホームページを使ってお知らせすることになる。ここに書いてあるものは全部、新設というわけではない。
- (委員) スポーツ教室の一覧表があれば、新しく教室を開かなくてもいいと思う。
- (事務局) 体育協会とも検討して開示していきたい。
- (会長) ほかにあるか。
(意見なし)
- (事務局) 計画は大きな財産だと思っている。推進していくには、行政だけではできない。みなさん方や市民の方々に協力してもらいながら、推進していかなければいけない。今後も協力をお願いしたい。この会も最後ということで今までありがとうございました。